

1

「青天の霹靂」生産指導での衛星画像の活用

衛星画像から栽培管理に有用な情報を判定する技術や、衛星情報を簡単に見ることができるWebアプリを開発しました。「青天の霹靂」の栽培指導で活用されており、高品質米生産を支えています。

要約

研究成果の概要

1 背景・目的

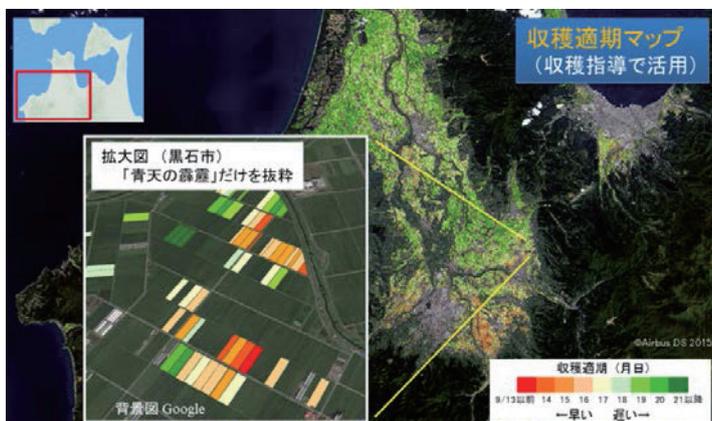
「青天の霹靂」のブランド化を進めるには、産地全体でバラツキのない高品質な米を生産することが必要です。

そこで、高品質米生産に役立つ情報（①収穫時期、②タンパク質含有率、③収量、④土壌の肥沃度）を衛星画像から判定する技術や、衛星情報を携帯端末で閲覧できるシステムの開発に取り組みました。

※タンパク質含有率が低い米は、飯米の粘りが強く、美味しい傾向があります。

2 内容

- 8月下旬の衛星画像での稲の色の違いを利用し、水田ごとの収穫時期を予測します。
- タンパク質含有率と収量は、毎年サンプル地点の実測データと衛星画像データから全ての水田を推定する技術を確立しました。
- 5月末の衛星画像での土の色の違いを利用し、土壌の肥沃度（腐植含量）を判定する技術を確立しました。
- 携帯端末で、衛星情報を簡単に閲覧できるWebアプリを開発しました。



←

Webアプリ

3 活用等

- 収穫指導 (9月)
適期収穫のため、指導員と生産者併せて500名以上にWebアプリが利用されています (H30年)。
- 施肥指導 (2~4月)
指導員による施肥量等の指導で、タンパクや収量、土壌の肥沃度のデータが利用されています。

関連情報

- 収穫時期を水田1枚ごとに判定する技術の実用化は、全国で初めてです。
- Webアプリを強化し、施肥量を自動でアドバイスする機能を開発中です。

農林総合研究所 農業ICT開発部

Tel. 0172-52-4346

E-mail nou_souken@aomori-itc.or.jp



青森産技

おもりの未来
技術でサポート